



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2017年7月No.422  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『一期一会』 国際会長 : 『ともに、光の中を歩もう』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ』 中西部部長 : 『未来には希望がある』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 松浦 孝次 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 船戸 輝久

## Biblical Message of July

だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章16節)

### 「一期一会」

三浦 直之

今期、会長職を拝命しました三浦直之です。センテニアルクラブは、1982年7月20日にチャーターしましたので今年2017年7月20日に設立満35年となります。長い歴史と諸先輩がたのご努力に敬意を表しますとともに、この1年間皆様のご協力を得て、更に発展するように頑張っていきたいと思ひます。標語は「一期一会」Encounter on the Y's Men's Roadとし、ワイズ活動を通じて、老若男女、国内外の多様な交流を体験していきたいと存じます。今期の目標としまして、現在会員数は19名ですが、会員の増強5名とし、近い将来には30名のクラブを目指しましょう。次に、例会の充実を図ります。また、YMCAとの連携をより深めていきます。次に、DBC活動がいまのところありませんので、締結できるように検討を続けてまいります。最後に、奉仕活動を積極的に行っていきます。種々述べましたが、是非実現できるよう、メンバー皆様の知恵と協力をお願いしたいと存じます。私自身の行動指針としては、「4つのI」、Ideal (理想)、Initiative (独創)、Interest (興味)、Industry (勤勉) を常に念頭に置いて会長職に当たりたいと考えます。ワイズメンに属し、働きを得ることは素晴らしいことですので、楽しく、明るく元気に行きましょう。

## July Club Meeting

『Kick-Off/EMC-C』

### 7月第1例会

日 時 : 2017年7月19日(水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 山中 秀男 君

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 開会               | 藤井 大祐 会長   |
| 2. ワイズソング           | 一同         |
| 3. 聖句朗読             | 山田 孝彦 君    |
| 4. ゲスト・ビジター紹介       | 藤井 大祐 会長   |
| 5. 今月の強調月間          | 石津 雅人 君    |
| 6. 会計報告(決算・予算)      | 岡本 剛介 君    |
| 7. 中西部長挨拶/会長交代式     | 司式/大村肇中西部長 |
| 8. 晩餐               | 一同         |
| 9. 報告「YMCA新ブランド」    | 船戸輝久 君     |
| 10. 報告「西日本区大会に参加して」 | 藤原 正巳 君    |
| 11. オークション          | 岡本 剛介 君    |
| 12. 連絡・報告・ニュース      | 各メンバーから    |
| 13. 誕生祝い・ニコニコ献金     | 一同         |
| 14. 閉会              | 三浦 直之 新会長  |

お誕生日 : 松田メン、坂本メネット

※プレゼントは、三浦直之メンに用意していただきます。

例会担当 : 1班 : 大村、角地、芝田、藤井、山田、山中の各メン

### 7月第2例会

日時 : 2017年7月26日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階

## 【クラブ統計 Statistics】

6月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21名	メ ン	14名	9名	6月	6月 : 15,500円
例会出席 15名	メネット	4名	0名	現 金	
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	オ-カヨソ : 2,400円
0名	ゲ ス ト	6名	0名	切 手	累 計 : 289,879円
出席率 71.4%	合 計	24名	9名	現 金	オ-カヨソ : 10,800円

これは、使徒パウロがコリントの教会の人々に宛てた書簡に書かれている言葉です。ここでパウロは力強く「落胆しません」と述べています。「外なる人」というのは、我々の身体や思考力など外に現れるもの、「内なる人」というのは神に捉えられ、支えられている我々の「心」と考えていいでしょうか？

省みて歳を重ね頭も身体もどんどん衰えていく私ですが、しっかり神に支えられている「内なる自分」を思い、「落胆しません」と言い切れる者になりたいと願うこの頃です。

(聖句選/コメント：山田 孝彦)

## 6 月第 1 例会報告

と き：2017年6月21日(水) 18:45~20:45  
ところ：ホテルグランヴィア大阪

今期最後の例会には、ゲストを含め 24 名が参加し、藤井大祐会長は不在だったが、三浦直之次期会長により、藤井会長の巻頭言のメッセージが読み上げられ、今期を締めくくるとともに会員に対し深い謝意が述べられました。

今回のハイライトは、フィンランド人で、近畿大学などで英語の講師をしているエリキ・ヒエタラフティさんによる英語による卓話。「フィンランドを知ろう~この素晴らしい世界」と題し、国の背景、教育、文化、観光など、幅広いテーマで私たちにフィンランドの魅力を語りました。北欧人特有の 190 ㍉もある大きな体のエリキさんは、シンプルで非常にわかりやすい英語で、ユーモアたっぷりに話し、私たちは彼の人柄にすっかり魅了されました。フィンランドの社会、教育制度は私たちも大いに学ぶ必要を感じました。

何早林メンから、ファミリーコンサートで 215 名の参加と、17 万円の収益が出たという報告がありました。

また、オークションでは、先ごろ熊本で行われた西日本区大会に参加したハワイ・ヌアヌクラブのモーリス・シモニシさんからのチョコレートなどが出品され、なごやかな内に 1 年をしめくくるとの例会が終了しました。



ユーモアを交えて語るフィンランド人のエリキさん

≡≡≡≡ Club Activities June, 2017) ≡≡≡≡

### Monthly Regular Meeting

On June 21, a total of 25 members, Y's menettes, and guests attended the last meeting of the fiscal year 2016-2017. Outgoing President Mr. Daisuke Fujii sum up all the activities during his past term and expressed his deepest appreciation to all members for their support. Mr. He Zao Llin, Chief of the Executive Committee of the "Family Classic Concert" reported the final result of the concert. According to Mr. He, there were a total of 215 person attended including 57 younger students and preschool children.

The highlight of the June meeting was a speech made by Mr. Errki Hietalahti, Finn and lecturer at Kindai University in Osaka. Titled "Let's learn more about Finland." – He covered a wide range of subjects such as Its background, education, culture, and sightseeing in English. With his explanation in plain English and his sense of humor, everybody was fascinated with his presentation. I was especially impressed by Finnish education system which has been highly evaluated in the World. According to the OECD Research, Finland is the most competitive country where people are satisfied with their living.

I assume this result mostly owes to their excellent education system. The ultimate superiority seems to lie in the high quality of teachers and their working systems. After his speech, many questions were raised In any way, we felt Finland so close to us on the evening. Thank you, Mr. Hietalahti. We learned a lot from you. Yen 14,400 was collected from the attendees for our club's smiling fund.

### 20<sup>th</sup> Japan West Area Convention

From June 9 to 10, 2017, the 20<sup>th</sup> Japan West Regional Convention was held at Kikuchi City Cultural Hall in Kumamoto Pref. with a total of 750 Y's men, and Y's menettes in attendance. After coming back from Kikuchi city to Kumamoto-city, dinner was held at the Hotel Nikko of Kumamoto.

Reunion with our IBC club friend, Mr. Maurice Shimonishi, president of the Nuuanu Y's Men's and Women's Club, was the most pleasant occasion for all of us. Talking variety of activities and operation of the both clubs, we deepened our mutual understanding more. Those who attended from our club were Mr. Masato Ishizu, Mr. Hajime Ohmura, Ms. Chiharu Sakamoto, Mr. Naoyuki Miura, Mr. Takahiko Yamada and Mr. Sam Fujiwara.

On the second day, our Y's Menettes Club was honored the excellent performance Club of the Year in the Y's menettes activities. Congratulations, our Y's menettes!

It was a big reward for our Y's Menettes' continuous efforts made so far.



中東の一つの小さな土地をめぐる二つの民族の対立—  
1948年のイスラエルの誕生と共に激化したアラブ対イスラエルの中東紛争。その原因がどこにあるのかを追い求めてきました。もちろん、その土地にエルサレムという、三大宗教の誕生の地があることも影響しています。しかし、それだけでないことが分ります。第一次世界大戦は、だれもがすぐに収束すると考えていました。参加した兵士も家族に「クリスマスまでには帰る。。。」と言い残して戦地に向かいました。しかし、予想に反して長引き、厭戦気分が蔓延していました。長期化すると、最後は多数決の様相を呈してきます。戦局を自国に有利にもっていくため、西欧列強は自国の味方を増やし、秘密外交と呼ばれる当事者間のみの外交交渉を駆逐しました。なかでも巧ではあるが、あまりにもひどい二重外交を行い、21世紀の世界に火種を残すことになったのが、当時の英国の外交でした。英国が委任統治していたパレスチナの土地を材料に、英国はユダヤ人に対して「バルフォア宣言」をもって、永年の夢であるユダヤ人国家建設を約束し、一方でアラブ人に対しては「フセイン・マクマホン書簡」をもってパレスチナを独立アラブ国家の一部とする態度を示しました。英国は明らかに二枚舌を使って、ユダヤ側とアラブ側の双方に、将来のバラ色の夢をもたせました。このようにして、大戦終結のために両陣営を味方に引き入れました。「バルフォア宣言」とは、1917年、英国の外務大臣 A・バルフォアが、ヨーロッパ最大のユダヤ人コミュニティ・リーダー、Rothschildらに将来パレスチナの地でのユダヤ人たちの国家建設を約束した密約です。

「フセイン・マクマホン協定」とは、1915年、英国がアラブ諸国にオスマン帝国への攻撃を促すため、アラブの主導者フセイン（在位1916～1924）に対し、戦争協力と引き換えに戦後中東におけるアラブ人居住区の独占と独立を認めるという英国の秘密協定です。英国の約束には、実はもう一つ「サイクス・ピコ条約」という密約がありました。英国の三枚舌外交です。パレスチナ問題は、巷に信じられているように、宗教対立のみがその原因でないことが見えてきます。



第一次大戦中、英国委任統治下のエルサレム風景

## 6月第2例会報告

と き：6月28日（水）18:30～20:30

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、芝田、藤原、船戸、何、三浦、松浦、山田の各メン

### 〈ワイス活動〉

- 7/20～7/25 アジア大会 タイ・チェンマイ（大村、三浦メン参加）
- 7/29 1回評議会、各事業委員会に参加要請
- 7/30 とさぼりサマーセミナー 7/14 ボランティア申込締め切り

### 〈クラブ活動〉

- 2018年ファミリーコンサート＝2018年5月12日（土）  
（第2例会議事録より）

## YMCA ニュース

### ☆第291回 早天祈祷会

日時：2017年7月21日（金）7:30～8:30

証し：岩坂二規さん（関西学院大学教育学部准教授 / 公益財団法人大阪YMCA理事）

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

### ☆発達障がい支援セミナー

発達障がいのある子ども達に関わる指導者や学校教員の方を対象にしたセミナーを下記の通り開催いたします。ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

日時：2017年8月1日（火）13:30～15:30

場所：大阪YMCA会館9階 903教室

テーマ：「教室での学習・行動の問題を考える～よく聞く・よく見る・考える習慣を身に付けるには～」

講師：上嶋恵先生 子どもの教育研究所所長

（学校心理士、特別支援教育士、元臨床発達心理士、日本K-ABCアセスメント学会理事）

参加費：1,500円

お申込み、お問合せ：YMCA 総合教育センター

TEL06-6443-7544 Email: [sudan@osakaymca.org](mailto:sudan@osakaymca.org)

### ☆「ユースリーダー安全支援金」ご協力をお願い

「ユースリーダー安全支援金」は、YMCAの活動の推進を担うユースボランティア（リーダー）の安全と研鑽の深まりを支援するための基金です。また、「YMCA安全の日（7月18日）」のキャンペーンと合わせ、「安全」への意識を高める機会といたします。多くの皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

【募金方法】大阪YMCA各事業所窓口にご持参、またはお振込みください。1口 千円（何口でも可）

【お振込み先】三菱東京UFJ銀行 大阪為替集申店（普）0230103（名義）公財 大阪YMCA

\*通信欄に「ユースリーダー」とご記入ください。通信欄がない場合は、振込名義人の後に「ユースリーダー」と入力してください。

\*公益財団法人大阪YMCAへの寄付として、税額控除の対象となります。寄付金領収証をご希望の方は、各事業所窓口までお知らせください。

【募金期間】2017年7月1日～8月31日

【目標額】¥1,000,000-

【募金事務局】大阪YMCA本部事務局 総務部（大阪市西區土佐堀1-5-6 電話06-6441-0894）（船戸 輝久）



## ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

### 《ゲストからのメッセージ》

○コーヒーをたくさん買っていただき、ありがとうございました。フィンランドのものが意外と身近にあるなと感じました。楽しいひとときをありがとうございました。（花本 茜）

### 《会員、メネットからのメッセージ》

○北欧をのんびりとクルージング出来ると楽しいでしょうね。老後に行けるように準備し、計画したいものです。

（石津 雅人）

○エリキさんのフィンランドの話、興味深く拝聴しました。

（大村 肇）

○日本語で自分の考えていることを相手に伝えることが日々苦勞しているので、英語で相手と会話するなんて恐縮ですが、よい経験になりました。

（岡本 剛介）

○ファミリーコンサート、ありがとうございました。ステージに手をかけて聞いてくれた子供たちが本当にかわいらしく、楽しく歌わせて頂きました。またご心配おかけしましたが、娘も無事産まれました。元気な女の子で、名前は「みも咲（みもさ）」です。新しい家族共々今後とも宜しくお願いします。

（角地 正直）

○エリキ様ありがとうございました。素晴らしいフィンランドの世界が少し解りました。ヒヤリングで半分位は理解できたかな～。

（芝田 光雄）

○今日は、YMCA からのおいしいコーヒーが例会に出てきてうれしかったです。

（坂本 千春）

○フィンランドのお話、大変興味がわくお話でした。

（谷川 寛）

○美しい夜景を観ながら、美味しいコーヒーを頂きました。

（中村 幸枝）

○エリキさんの話を聴き、いっそう英語力を身につけたいと思いました。

（中村 茂高）

○大人のビジターがあり、大変楽しく賑やかな例会でした。エリキさんの卓話は音楽入りで、大変わかりやすく教訓的でした。小林さん大歓迎です。これからもよろしくお願い申し上げます。

（藤原 正巳）

○英語の例会、とても楽しかったです。定期的に出来ればいいですね。

（何 早林）

○エリキさんのフィンランドのお話、興味深く拝聴しました。ほとんど知らない世界です。いまだ訪れたこともないので、勉強します。

（松浦 孝次）

○久しぶりに例会に出席しました。ゲストも多く、フィンランドのお話、大変興味深く、旅行した時の事を思い出しました。

（松浦 和子）

○エリキ・ヒエタラフティさんのフィンランドの話、とても楽しかったです。また機会がありましたら、是非お聞きしたいです。

（三浦 直之）

○日々の健康に恵まれて、今日も 6 月例会に楽しく参加出来たことを感謝しております。

（山田 孝彦）

○エリキの英語卓話はシンプル、明解で大変よかった。サンタビレッジ、サウナのシェア使用、教員志望が最も多く、法曹、医者がこれに続いている。国情の違いがわかった。

（山中 秀男）

○ロンドンの火事で、日本人家族がいらしたとの事ですが、無事助け出され安心しました。

（山中ちあき）



### 熊本の西日本区大会

#### ハワイ・モーリス・シモニシさんと IBC 交流

6月9日～10日、熊本県菊池市文化会館で第20回西日本区大会が開催され、750人のメン、メネットが集まりました。会場の菊池市から熊本市に戻った後、熊本のホテル日光で夕食会が行われ、来日したハワイ・ヌアヌクラブの会長のモーリス・シモニシさんと再会、両クラブの活動の情報交換をし、再び親交を深め合う機会を得ました。当クラブの参加者は、石津正人、大村肇、坂本千春、三浦直之、山田孝彦、藤原正巳の各メン、メネット＝写真。

また最終日の表彰式では、私たちのメネットの活動が評価され、「優秀メネット賞」を受賞しました。これまでの地道な取り組みが評価され、大変喜ばしいことです。

### 後 記

とにかくエリキさんは博覧強記である。こんなにいろいろなことを知っている人にいまだ私は会ったことがない。地理、歴史、音楽、文学なんでも来い。米国の州の配置図も、ヨーロッパ、アフリカの国々も白板にまたたくまに描いてしまう。ヨーロッパの民族の分布図は完全に頭の中に入っている。雑学にも詳しい。詳しくも順位付だけでなく、何%の割合まで実にその分析は細かい。「ほんとかよ」と、こっそり調べても大体は合っているから不思議だ。そんなエリキさんも、時々、俺の老後は大変だとみんなの前で嘆くことはある。それでも生き方は非常にポジティブで、知的関心そのものの中に生きている。大学生の娘さんと高校生の息子さんがいるが、二人の教育にはお金を惜しまない。英語教育のために韓国、カナダ、フィリピンなど短期留学をどんどんさせる。特に頭のよい息子さんは、行った先々で海外の友人ができ、帰国後もメールなどで文通をしているという。エリキさんの生き方、子どもへの教育を考えると、日本の教育はどうも閉鎖的なように思える。エリキさんに出会い、国際教養とは何かを考えさせられる。 SN